

もえぎのクローバー大口評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	16			
	②	職員の配置数は適切であるか	16			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	1		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	2		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	2		
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	1		
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	16			
	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	1		
	⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	15	1		
	⑪	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	16			
	⑫	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	16			
	⑬	日々の支援に関して正しく記録をつることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16			
関係機関	⑭	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	16			
関係機関や保護者との連携	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	16			
	⑯	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	8		
	⑰	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	16			
	⑱	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8			

保護者への説明責任等	⑱	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	8		
	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	16			
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16			
	㉒	個人情報に十分注意しているか	16			
	㉓	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	16			
非常時等の対応	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16			
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修会議を確保する等、適切な対応をしているか	16			
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	16			
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指定書に基づく対応がされているか	16			
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	1		